



■ 「託された未来をひらく」冒頭30ページ

創業100年を機に更新したパーパス「託された未来をひらく」を軸に、CEO、CFO、CSuOのメッセージと価値創造ストーリーを冒頭30ページに凝縮しました。当グループのあゆみと現在地、そして未来への展望を、ステークホルダーの皆さまにわかりやすくお伝えします。

■ CxOが語る経営課題と注力分野

CHRO、CRO、CISO、CCOが、それぞれの専門領域から当グループの経営課題と注力分野について語ります。人的資本、リスク管理、情報セキュリティ、コンプライアンスといった基盤領域における取り組みを、中長期的な視点でご紹介し、持続的成長を支える経営の意志を明確にしています。

■ 企業価値向上に向けた実効性あるガバナンス

社外取締役座談会や取締役会議長、法定委員会委員長のメッセージを通じて、当グループのガバナンス体制の現状と課題、そして直近の注力ポイントを明らかにしています。企業価値の持続的な向上に向け、実効性ある統治のあり方を多面的にご紹介します。

Contents

存在意義（パーパス） 2

At a Glance 4

CEOメッセージ 6

CFOメッセージ 12

CSuOメッセージ 18

Theme.1

価値創造ストーリー

信託とは 22

価値創造プロセス 23

当グループのあゆみ 24

価値創造の取り組み 26

マテリアリティ 30

Theme.2

経営戦略

2023～2025年度 中期経営計画の進捗 34

【特集①】 成長戦略 36

【特集②】 生産性向上 38

【特集③】 挑戦する企業文化の醸成 40

事業戦略 42

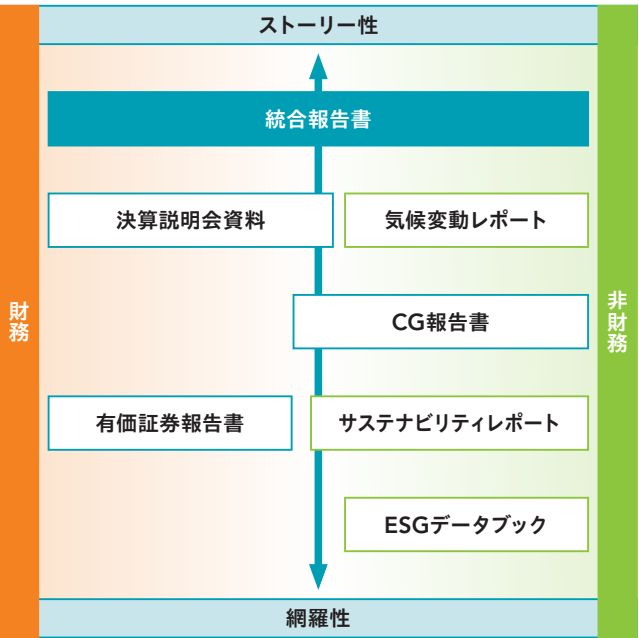
サステナビリティ推進体制 56

気候変動対応 58

人権の尊重 60

人的資本 62

■ 情報開示の体系



Theme.3

価値創造を支える基盤

社外取締役座談会 74

コーポレートガバナンス 78

当社の取締役・執行役 86

リスク管理 88

セキュリティ 92

コンプライアンス・受託者精神 94

内部監査 99

Theme.4

データセクション

当グループの概要・外部評価一覧 102

財務データ 104

企業情報 106

編集方針

今般、投資家を中心としたステークホルダーの皆さまに当グループの取り組みについてご理解いただくために統合報告書を作成致しました。本報告書においては、創業以来、「託された未来をひらく」存在として、我が国の発展に貢献してきた当グループが、次の100年に向けて、パーパスのもと、「資金・資産・資本の好循環」をより一層促進するための具体的な取り組みや企業価値向上について説明しています。編集にあたっては、IIRC（国際統合報告評議会）が発行した国際統合報告フレームワークを参考に、財務情報のみならず、ビジネスモデルや人的資本戦略、コーポレートガバナンス、サステナビリティなどの非財務情報の充実を図っています。また、当社のディスクロージャーポリシーに則り、適切に開示しています。なお、詳細な財務情報やESG関連情報についてはディスクロージャー誌資料編、サステナビリティレポートおよびウェブサイトなどをご覧ください。

報告対象

期間：2024年4月から2025年3月
（一部に2025年4月以降の情報も含みます）
範囲：三井住友トラストグループ
（三井住友トラストグループ株式会社、三井住友信託銀行株式会社およびその他の子会社・関連会社）

統合報告書2025

3つのポイント